

2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	貴重な資源を各部屋に配置し、10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員を配置しております。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	室内、トイレはバリアフリーで車いすの移動にも対応ができるようになっております。 スロープが後付けで少し段差があるため、児童が室内を移動する際は、声かけ、見守りを実施しております。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	定期的に消毒・換気を徹底し、毎日の清掃や汚れた場所の清掃も実施しております。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	プロアや個室、和室を児童や活動内容に応じて空間を使い分け、最適な環境づくりに努めております。	
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	月に1回のリフレクション会議をおこない、職員が参加して見直しや今後の目標について討議しております。 シフト制のため全員で一齊に会議に参加することは難しいですが、会議後に議事録を作成し、職員全員で共有できるように努めております。	
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	定期的に保護者様にアンケートをおこなっております。 また、送迎時やお迎えにきていただいた際の会話の中で意見等をいたいたい場合は、ご意向を把握し、会議で話し合い、改善を図るようにしております。	
8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	月に1回の会議をおこない、意見を言う場を設けることで問題点の把握、業務改善に努めおります。	
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	年度初めに年間研修予定を計画し、事業所内研修を実施しております。 定期的な研修の開催で職員の意識が向上できるように努めています。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	公式Webサイトにて公表しております。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	個々の児童に対し、保護者様とアセスメントをおこない、その際に児童および保護者様のニーズを聞き取り、客観的に分析したうえで児童発達支援計画を作成しております。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	児童発達支援計画を作成後、職員全員が閲覧できるように提示し、計画に基づいた支援をおこなっております。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	毎朝、利用予定に基づき、当該児童について職員が意見を出し合い、一日の流れや支援内容、役割分担を確認し、より良い支援ができるよう努めています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	統一化されたアセスメントシートを使用したり、日々の経過記録の内容をもとにしたりして支援計画の作成へとつなげております。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	放課後等デイサービスガイドラインを踏まえたうえで、保護者様と面談をおこない、児童の支援に必要な項目を設定しております。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	ケース会議で児童の特性や活動内容の見直しをおこない、職員間で話し合い、環境等を考慮し、チームで立案しております。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	療育内容の見直しや話し合いを随時おこない、イベントや季節ごとの活動、制作などを取り入れ、固定化しないようにプログラムの工夫に努めています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	児童の発達段階に合わせ、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しております。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	毎朝、利用予定に基づき、当該児童について職員が意見を出し合い、一日の流れや支援内容、役割分担を確認し、より良い支援ができるよう努めています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	支援終了後には送迎等で全員参加にならないときもありますが、支援の中で気づいたことや、気になることなどを職員間で伝え合い、共有し、また次回の指導にもつながるように努めています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	支援終了後には送迎等で全員参加にならないときもありますが、支援の中で気づいたことや、気になることなどを職員間で伝え合い、共有し、また次回の指導にもつながるように努めています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	定期的にモニタリングをおこない、面談にて保護者様のご意向を踏まえ、児童の状況や課題などを話し合い、計画の見直しを判断しております。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9	放課後等デイサービスのガイドラインを踏まえながら支援をおこなっております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	支援や活動の中で選択肢の中から児童が自己選択をする場面を設けることで、自己決定をする力を育てるための支援をおこなえるように努めています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	担当者会議には、児童の状況を一番把握できている児童発達支援管理責任者、管理者、その児童に多く関わりを持つ指導員や保育士、専門的支援をおこなう専門職員が参画しております。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	関係機関と積極的に情報共有や相談をおこない、連携した支援ができるよう努めています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	送迎の際や電話連絡、HUGのアプリ等を通して、定期的に情報共有が出来るように努めています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	送迎の際や、電話や訪問の際に、情報共有をおこない、相互理解を図ることができるように心がけております。 また、必要に応じて教育相談の場にも参加しております。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	現在、該当する児童がいないため、実施しておりません。	今後児童が学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、情報共有ができるよう努めています。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要な時にスローバイオイングや研修を受ける機会を設けているか。	9	現在、地域の児童発達支援センターとの連携を図る機会を設けることはおこなっておりません。	今後は地域の児童発達支援センターとの連携を図り、助言をいただく機会を設けてまいります。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	現在、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他の児童と活動する機会は実施していません。	今後は保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
33	（自立支援）議論等へ積極的に参加しているか。	9	今年度から自立支援議論等へ参加しております。	
34	口頭からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	以前おこなっていた発達状況や送迎時、お泊り時などでの療育改善や発達の状況および課題について伝えたり、保護者様からお話を伺ったりすることで、情報交換に努め、児童についての共通理解を深めさせております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアソントレーニング等）や家族等の参加できる研修会場や情報提供等を行っているか。	9	送迎時や必要に応じて事業所内で面談をおこなったり、訪問を実施したり、ご相談に対するアドバイスをさせていただいている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用料金等について丁寧な説明を行っているか。	9	契約時に丁寧な説明をしない、双方で同意の上契約を交わしております。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意志の最も高い優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を踏まえる機会を設けているか。	9	児童発達支援計画を作成する際は必ず保護者様と面談をおこない、保護者様から同意をいたしました。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容を説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	児童発達支援計画を作成した際は、支援内容の説明をおこない、保護者様から同意をいたしました。	
39	家族等からの学習での悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	保護者様のお話に寄り添う姿勢を大切にしております。 子育てや児童の発達の悩みなどを相談には、話しかけやすい雰囲気づくりを心がけ、時にはご家族との訪問等、保護者様のニーズに合わせた支援に努めています。	
40	父母の会活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者と同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	保護者様同士や保護者と同士で交流する機会は作成していません。	今後は保護者様のご意向をつかいかげながら検討してまいります。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整えており、こどもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	ご相談やお申し入れには迅速に対応できるよう努めています。 また、職員間で相談や申し入れの周知をおこなったり、職員間で意見を出し合っておりまして。	
42	定期的に面接会を開催することと、HUGアプリ等を活用することにより、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	COMPASS等よりの季刊発行や、毎月おたよりを作成し、保護者様へHUGアプリを通して発信しております。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	この他にも公式WebサイトでブログやYouTubeで療育チャンネルを運営し、各種SNSでも情報を発信しております。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしているか。	9	児童には個々の特性に合わせた伝達手段を選択し、わかりやすい言葉使いのうえ、意思を確認しております。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	9	保護者様はぜひおこなってください。電話など、保護者様とはどちらも尊重し、児童やご家族の優先考慮の観点を踏まえながら、児童やご家族の意見を踏まえながら、児童の意見を尊重しております。	今後は保護者様のご意向をつかいかげながら検討してまいります。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	緊急時対応マニュアル等を作成し、保護者様に毎年年度初めに年間計画を立案し、地震、火事、不正侵入等の緊急時に備えて、職員にも周知徹底しております。	
47	業務規程（HUG）を遵守するように、非常災害時の発生に備え、計画（HUG）を策定する等の準備を行っているか。	9	毎年年度初めに年間計画を立案し、地震、火事、不正侵入等の緊急時に備えて、職員にも周知徹底しております。	
48	事前に、服装や預け接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	事前に服用や発作時の情報について聞き取りをおこない、通院前後には詳しく確認しておきます。 また、緊急時には全職員が対応できるよう、適切な訓練を実施しております。	今後は保護者様のご意向をつかいかげながら検討してまいります。